

事業所名	グループホーム きびの里 (クリックすると事業者の情報にリンクします)
日付	平成19年10月25日
評価機関名	㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
評価調査員	A:現職 社会福祉法人生活指導員 資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー
B:現職 介護支援専門員	資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、介護老人福祉施設(9年)
自主評価結果を見る	(事業者の自主評価結果にリンクします)
評価項目の内容を見る	(評価項目にリンクします)
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述) 入居者が地域の中に入って行き、認知症になっても地域の中に溶け込み、一緒に社会参加しながら共に生きて行ける開かれたホームとなることを目指している。 入居者の認知症が重度化しても、出来るだけ身体的に適應できるように医療面でも対応して行き、入居者の終の住み家として安心して暮らせるように支援している。 一緒に諸々の行事に参加することの意義を大切にし、入居者と家族との連携を図り、絆を深めるよう橋渡しの役割を担っている。また、職員と家族との関係も大切にしている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述) 本人及び家族から充分な聞き取りを行い、入居者の生活歴・ライフスタイルを探りながら、その人らしい生活が営めるように取り組んでいる。入居者本人がやりたいことをいつでも自由にしてもらえるよう、活動意欲を引き出し、今までの生活を継続しながら、居心地の良い、落ち着いた生活へと繋げている。 リハビリテーションを毎日積極的に取り入れ、入居者の心身機能の維持向上に努め、健康で安定した生活の維持に取り組んでいる。 入居者の得意な事・好きな事を把握し、料理など入居者自身が関わってもらえるようお互いの信頼関係を構築し、心の平穏を醸し出すように努めている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のベースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述) JRの駅から徒歩10分、バス停からも5分と交通のアクセスが比較的良好。中学校・大学に隣接し、近くには神社もあり、環境に恵まれた文教地区の中にホームはある。ホームの前には水田も点在する住宅地域ではあるが、すぐ近くには大きなスーパーもあり、生活に利便性のあるロケーションである。 母体法人の病院がすぐ近くにあり、24時間体制の医療支援で、入居者の病気の早期発見、重症化防止に努めている。緊急時にはいつでも医療面でのバックアップがあり、入居者・家族は安心してホーム生活を送れる。 「健康は食より」を基本とし、毎食後の歯磨き・うがいとはもとより、食事前には嚥下体操・口腔体操も行ってあり、入居者は自ら歯磨きををすることが習慣化している。また、病院でのリハビリにも積極的に参加し、身体機能低下予防に努めている。 入居者の明るい表情、和気あいあいとしたホームの雰囲気は、職員の適切な人事運営と定着率の良さに起因しており、明るく開放的な玄関・広い駐車場は、家族や外来者が訪問しやすい。 「ほのぼの のんびり きびの里」の基本理念に基づき、入居者に安心してゆっくり過ごしてもらうため、医療・安全対策等に万全を期し、入居者・家族に厚い信頼を得ている。 特に改善の余地があると思われる点(記述) 改善点として特段に指摘すべき点は無い。 運営推進会議等を活性化し、地域に対するホームの啓発を進め、入居者が地域の一員として安心して生活でき、積極的に周囲に溶け込んで行けるよう、更なる支援・努力されることを期待する。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述) 入居者の生活経験・過去の職業等を把握し、その経験を尊重して活かし、入居者の活動意欲を引き出している。 訪問者は前もって本人を確認し、訪問者の記録を残して家族に伝えるようにしている。入居者の個人情報の取り扱いには慎重を期している。 個人記録は事務室に施錠して保管している。職員の守秘義務を徹底し、ボランティアにも協力を要請し、個人のプライバシーを守るようにしている。不要になった書類は全てシュレッダーにかけて処分しており、プライバシーポリシーを実践するよう取り組んでいる。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述) スタッフルームには外部研修の案内を掲示して参加を募り、職員の学習意欲を高め、職員の資質向上に努めている。県・市主催の研修には費用を法人が負担し、個人的研修には日程を調整して参加しやすいように便宜を図っている。 ヒヤリ・ハット報告を有効に活用し、リスクマネジメントに積極的に取り組み、事故防止に繋ぐように努力している。 地域の民生委員や管轄の包括サプセンターとの交流・連絡を緊密にし、地域運営推進会議が有効に機能を発揮できるように取り組んでいる。入居者の社会参加が進むよう働きかけ、サービスの資質向上に向け努力している。		